

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！  
京都市議員



発行：2019年2月24日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

# 来年度も守った!!敬老乗車証制度

## 41,523筆の署名が京都市を動かす



京都市は、6年前に敬老乗車証制度を見直す方針を明らかにしましたが、それ以降、市民の中から「せめて今のままで残してほしい」という声がどんどん広がっていました。

2月7日に「敬老乗車証を守ろう！連絡会」が市役所前で集会を開き、京都市に903筆の署名を提出しました。今回のものを合わせると合計41,523筆の署名が京都市に届けられたこととなります。

署名を受け取った市の担当者からは「来年度も敬老乗車証は現行のままで制度を継続する」と認めました。市民の皆さんの運動がまた京都市を動かしました。来年度も署名の力で敬老乗車証制度は今の制度で守られました。市民の皆さんと日本共産党の議会論戦が一つになれば願いはかないます。引き続き、京都市が改悪を断念するまで力を合わせましょう！

市民の願いが詰まった署名を京都市に提出する「市民の会」のみなさん。(2月7日)

## 許せない!!京都市が市営住宅の戸数削減を計画

来年度予算案の中で、京都市は新たに公営住宅の管理戸数を減らす方針を提案しています。

昨年大阪北部地震で公営住宅の被害が出たことから、住民の安全を守るために、耐震補強が必要だという事ですが当然です。しかし、耐震工事はお金がかかると同時に時間もかかるので、住民に耐震の大丈夫な市営住宅に移転してもらおうということです。移転してもらって空いた住棟を壊し新しく市営住宅を建設するというのなら納得です。

ところが京都市は、これま

での「市営住宅の管理戸数は維持する」という方針を変えました。古い公営住宅の跡地は活用するというのですが、住民の安全を言い訳にして、公営住宅を減らす方針です。今でも応募してもなかなか当たりにくく、12月の公募でも単身者用は最高66倍で、一般でも最高25.3倍の倍率です。公営住宅の削減は安価で安心して住み続ける事のできる住居を市民から奪うこととなります。

西野市議は「絶対に認めるわけにはいきません。」と訴えました。



市民のみなさん、ばば府議とともに  
公営住宅の削減を許すなと訴える西野市議



## 子どもの医療費 通院の月額が1500円に

これまで子育て中の若い方を中心に「子どもの医療費助成を拡充してほしい」「せめて義務教育の間は医療

費を通院も月200円にしてほしい」の声が多く出されていました。昨年の知事選挙でも大きな争点になりました。知事選挙で福山和人さんが大健闘した結果から、新知事も、こうした府民の声に押されて「検討の余地がある」と言わざるを得ませんでした。

これまで京都府と京都市は歩調を合わせて、3歳未満までの子どもの医療費は通院も入院も月200円の負担。3歳になったとたんに通院は一人月3000円まで負担の必要がありました。入院は月200円です。

来年度予算を発表するにあたり、京都府と京都市は医療費負担を一人月1500円の負担に改正する案を提案しました。府民の運動が実り、負担はこれまでの半額になり一歩前進です。

しかし、京都府内で最も遅れた唯一の自治体が京都市です。「子育て環境日本一」と言うのなら、中学校卒業までの医療費を通院も月200円にして、子育て支援をすべきです。

